【概要】もしもの時のサポートサービス『もしサポ岩手』

１．事業趣旨

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けて、それぞれの場所での徹底した感染防止対策とともに、**県民の方々が「安心して行ける」環境を創ることが重要です**。そのため、**施設やイベント会場などに掲示されたQRコードを利用者等がLINEアプリで読み取る**ことで、**他の利用者等の感染が判明し県が不特定の方への感染の恐れがあると判断した場合**に、**LINEを活用して岩手県から感染拡大防止に向けたお知らせなどを行う**ことで、**「県の相談窓口への相談」や「医療機関の受診」等の行動変容を図る『もしサポ岩手』サービスを開始**します。本サービスにより、**感染対策に日々努力されている方々**の**施設やイベント等に対して、県民の更なる「安心感」や「信頼向上」につながるよう県がサポート**していきます。

２．利用方法

開設日時：令和２年７月１日（水）、　対象：岩手県民、　対象施設等：QRコードを発行した県内施設、イベント等

①**施設やイベントの管理者はWebフォームからQRコードの発行申請**を行い、**受付や入口等で掲示するとともに利用の呼びかけ**をお願いします。

②**施設・店舗等で掲示されているQRコードをスマートフォンで読み取るだけで利用が可能**です。

※ 本サービスについては、LINEアカウント名以外の個人情報を取得するものではなく、また個人情報の漏洩等が生じるものではありません。

③**他の利用者等の感染が判明し県が不特定の方への感染の恐れがあると判断した場合**に、**LINEで岩手県から感染拡大防止に向けたお知らせ**などを行います。

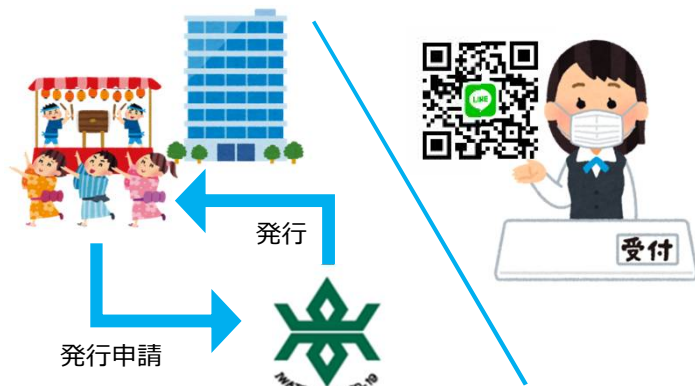
【メッセージ例】※以下の内容は感染の発生状況等に応じて文面に変更の可能性があります
新型コロナウイルスに感染された方が、あなたがQRコード登録した施設・イベント等を同じ日に利用していました。あなたが感染しているとは限りませんが、体調管理等に十分に注意し、体調悪化の際は県の相談センターに御連絡願います。

登録施設一覧（7月8日現在）：255か所

「もしサポ岩手」に登録いただいた施設等での日頃から心がけている感染予防策などの実践例をまとめた「ウチでも、もしサポ岩手、はじめました」を7月10日より、県HPやLINE等で紹介していきます。本事例を参考に一層の感染対策に取り組んでいただき、「安心して行ける環境」の創出に向けて取り組んで行きます。

３．基本的フロー

①QRコード発行申請&掲示

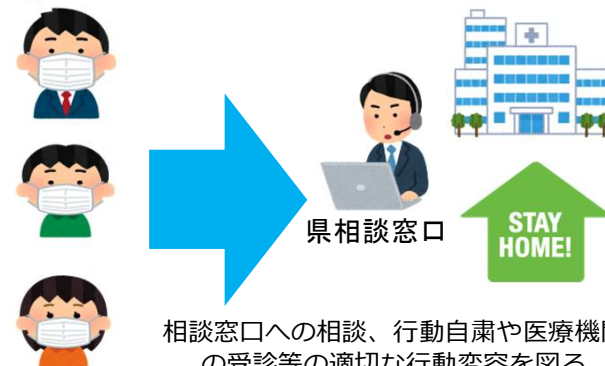
施設やイベントごとにWebフォームからQRコードの発行申請を行い、施設の受付や入口等で掲示。

②利用者がQRコードを読み取り

利用者は往訪した施設ごと、往訪日ごとにQRコードを読み取り施設等を登録（情報は岩手県が管理）

各施設等のQRコードの読み取ることで自動的にその施設を利用したことが登録される

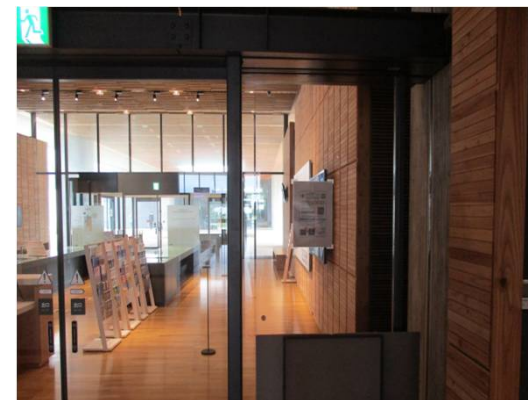
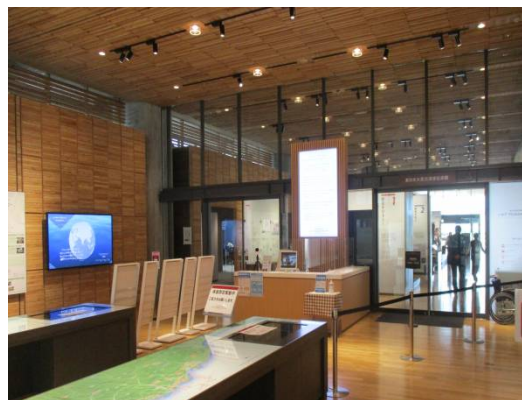
③もしもの時の岩手県からのお知らせ

同じ施設等の利用者に新型コロナの感染が確認され、県が不特定の方への感染の恐れが高いと判断した場合に対象者にLINEメッセージでお知らせする。

相談窓口への相談、行動自粛や医療機関の受診等の適切な行動変容を図る

ウチでも もしサポ岩手、はじめました

【東日本大震災津波伝承館】

東日本大震災津波伝承館では、エントランスの受付カウンター、出口付近の案内板などに紹介ポスターと「もしサポ岩手」のQRコードを設置しています。

施設内では、サーモグラフィカメラによる検温の実施、手指消毒などの感染拡大防止策を取った上で、東日本大震災津波の事実と教訓の伝承に取り組んでいます。ご来館をお待ちしています！

（スタッフからのメッセージ）

感染症対策へ御協力いただきありがとうございます。伝承館では、団体の方を対象に事前予約も受け付けています。お気軽にお問合せください。

LINEアカウントはこちら

施設問合せ先：東日本大震災津波伝承館 0192-47-4455　9:00～17:00（土日対応可）